

県内企業景況調査結果

(2025年1~3月期実績、2025年4~6月期見通し)

— 県内景況は、拡大している —

(前回)県内景況は、拡大している

- 業況判断D.I.は「好転」超幅がほぼ横這いとなり、**12期連続のプラス**
来期も「好転」超幅がほぼ横這いの見通し (4ページ)
- 景況天気は11期連続の「晴れ」。来期も引き続き「晴れ」となる見通し (7ページ)

■主要D.I.(カッコ内は前回調査からの変動幅、単位:%ポイント)

(参考)

	業況判断D.I.	景況天気	売上D.I.	採算水準D.I.	資金繰りD.I.	雇用判断D.I.
当期実績	8.5 (▲1.2)	 晴れ 12.2(▲2.0)	7.5 (▲5.5)	32.0 (+3.3)	▲2.8 (▲3.8)	56.4 (+2.4)
来期見通し	7.8	 晴れ 15.4	15.4	30.1	0.6	58.6

[調査内容についてのお問い合わせ先]

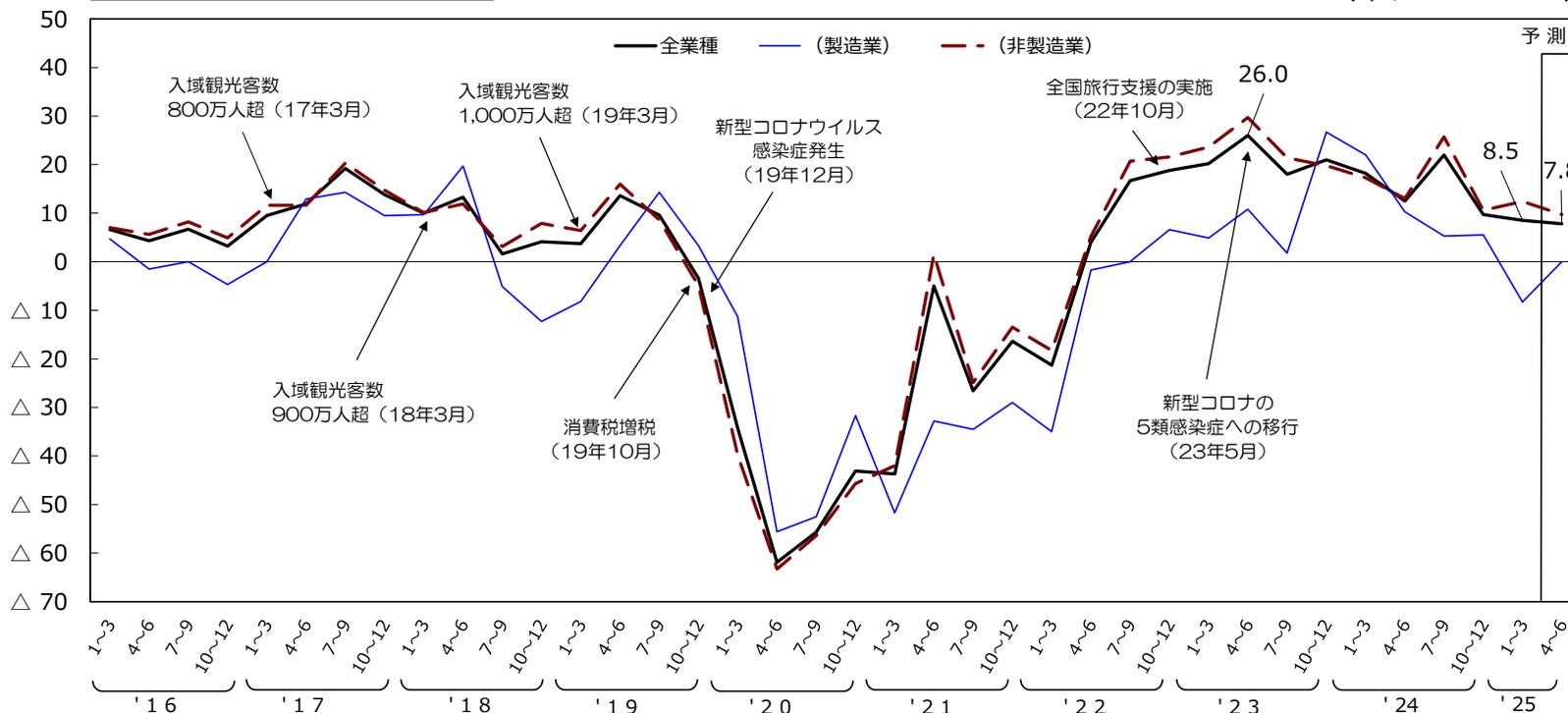
調査部 金融経済調査課(担当:比嘉) 沖縄県那覇市おもろまち1-2-26 電話:098-941-1725

調査結果の概要 (I)業況判断D.I.

- 実績(1~3月期):「好転」超幅がほぼ横這いとなり、**12期連続のプラス** [前期9.7%ポイント(以下、単位省略)⇒当期8.5]
 - 人手不足、原材料高、人件費増の影響や一部事業者に価格転嫁の遅れが見られるも、引き続き観光需要、個人消費が堅調に推移し、建設需要も底堅さがみられることから、県内景況は拡大している。
- 見通し(4~6月期):来期も「好転」超幅がほぼ横這いの見通し [来期7.8]
 - 人手不足、原材料高、人件費増の影響はあるも、県内景況は総じて拡大基調が続くとみられる

図表I 業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント)



(2)景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値)

• 実績：11期連続の「☀️ 晴れ」 [前期14.2⇒ 当期12.2]

卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業で引き続き「☀️ (晴れ)」

製造業、サービス業で「☀️ (晴れ)」→「☁️ (薄曇り)」

建設業で引き続き「☁️ (薄曇り)」

情報通信業で「☁️ (薄曇り)」→「☁️ (曇り)」

• 見通し：引き続き「☀️ 晴れ」となる見通し [来期15.4]

卸売業、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業で引き続き「☀️ (晴れ)」

建設業、サービス業で「☁️ (薄曇り)」→「☀️ (晴れ)」

情報通信業で「☁️ (曇り)」→「☁️ (薄曇り)」

製造業で引き続き「☁️ (薄曇り)」

図表2 全産業における景況天気図の推移

(単位:%ポイント)

区分	2023年		2024年				2025年		
	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期 前回見通し	1~3月期 今回実績	4~6月期 今回見通し	
景況天気図	☀️ 21.0	☀️ 18.1	☀️ 16.6	☀️ 20.2	☀️ 14.2	☀️ (12.9)	☀️ 12.2	☀️ 15.4	

☀️ 快晴 — 30以上~ 100以下 ☀️ 晴 — 10以上~ 30未満 ☁️ 薄曇り — △ 5以上~ 10未満
 ☁️ 曇り — △ 30以上~△ 5未満 ☔ 雨 — △100以上~△30未満

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

項目 業種	調査対象 企業数 (A)	回答数 (B)	回答率 (%) (B)/(A) ×100
全産業(※1)	368	319	86.7
製造業	68	60	88.2
建設業	68	60	88.2
卸売業	47	43	91.5
小売業	47	39	83.0
運輸業	33	29	87.9
情報通信業(※2)	23	18	78.3
サービス業	46	41	89.1
飲食店・宿泊業	33	27	81.8

※1 全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

※2 情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し自計記入またはWEB調査システムからの回答を求める方法。

5. 調査対象期間

当期：2025年1～3月期実績

来期：2025年4～6月期見通し

6. 調査実施期間

2025年2月中旬～2025年3月上旬

(発送：2025年2月21日、回収基準日：2025年3月7日)

7. 用語説明等

- 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- D.I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD.I.を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

Ⅱ. 調査結果 Ⅰ. 業況判断

— 当期は「好転」超幅がほぼ横這いとなり、12期連続のプラス
来期も「好転」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 自社の業況を総合的に判断する当期の業況判断D.I. (全産業)は8.5と、12期連続のプラスとなった。
- 全産業ベースで「好転」超幅が縮小し、製造業や卸売業で原材料高騰の影響や人件費の負担による「悪化」回答があったものの、製造業およびサービス業を除くすべての業種で引き続き「好転」超となった。
- 来期の業況判断D.I.は7.8と、「好転」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表3 業況判断D.I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合) (単位:%ポイント)

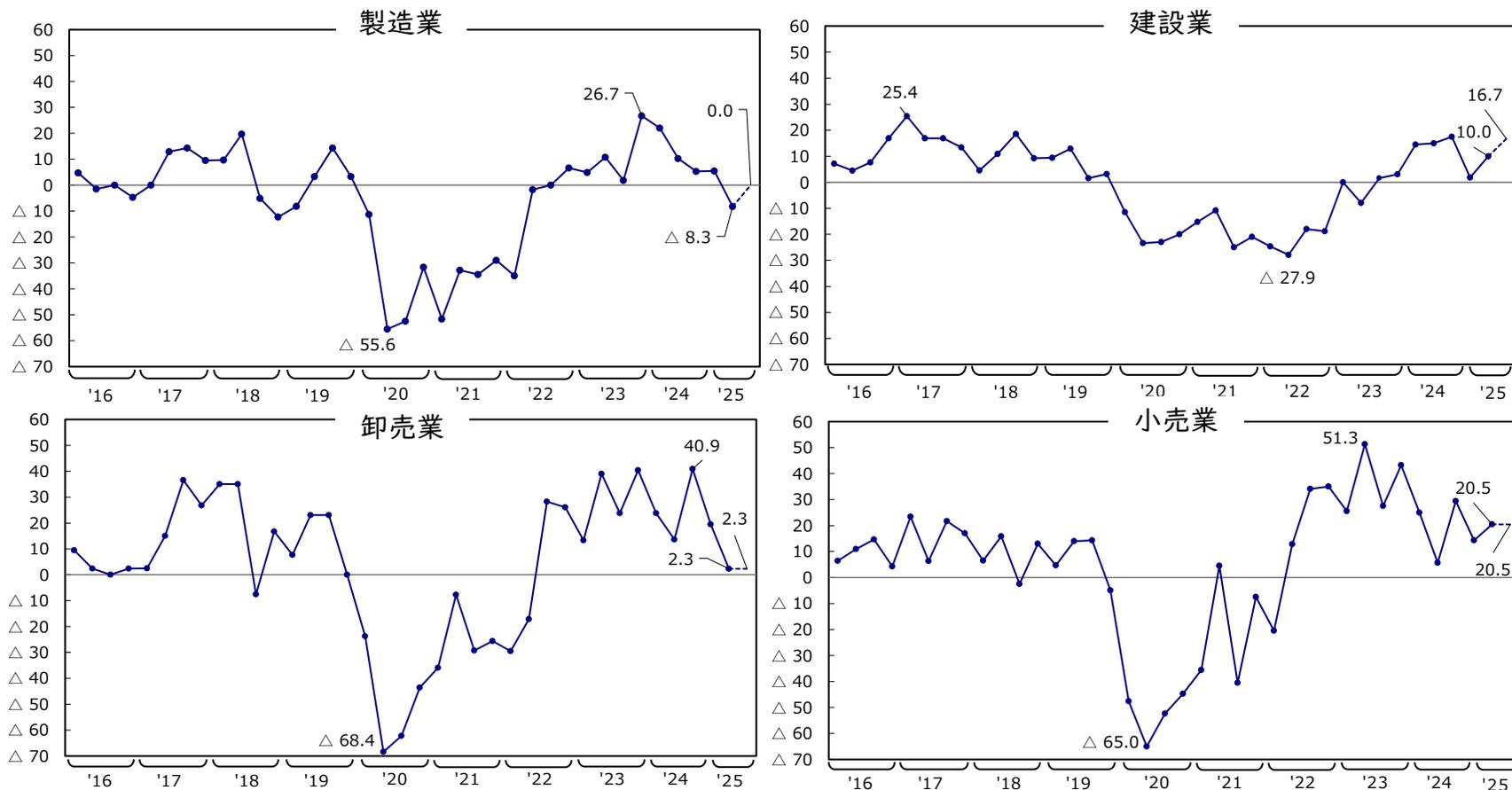
業種	区分	2023年		2024年				2025年		
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期	1~3月期		4~6月期	
						前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し	
全産業	D.I. (①-②)	21.0	18.2	12.5	22.0	9.7	(9.0)	8.5	7.8	
	① 好転(%)	37.5	34.8	29.2	33.4	27.0	(22.0)	26.0	21.9	
	不変(%)	46.0	48.6	54.2	55.1	55.7	(65.0)	56.4	63.9	
	② 悪化(%)	16.5	16.6	16.7	11.5	17.3	(13.0)	17.6	14.1	
	製造業	26.7	22.0	10.3	5.3	5.5	(9.1)	△ 8.3	0.0	
	建設業	3.1	14.5	15.0	17.5	1.8	(3.6)	10.0	16.7	
	卸売業	40.4	23.8	13.6	40.9	19.5	(14.6)	2.3	2.3	
	小売業	43.2	25.0	5.7	29.4	14.3	(20.0)	20.5	20.5	
	運輸業	19.4	9.4	33.3	22.6	23.3	(13.3)	17.2	10.3	
	情報通信業(※)	△ 27.8	△ 5.3	△ 11.8	0.0	6.3	(6.3)	11.1	△ 5.6	
	サービス業	17.5	19.5	5.1	15.0	△ 7.5	(△ 2.5)	△ 4.9	△ 2.4	
	飲食店・宿泊業	28.6	24.0	23.1	53.6	29.2	(12.5)	40.7	18.5	

※情報通信業は、①通信業、②放送業、③情報サービス業、④出版・新聞業から構成される。

- ・ 製造業では、食料品を中心に価格転嫁により売上を確保したものの、印刷でデジタル化による受注減少、窯業・土石で生コン出荷量の減少、その他製造業で原材料高騰などの理由により、「好転」超から「悪化」超へ転じた。
- ・ 建設業では、公共工事の一服による一時的な受注の減少や人手不足の影響で営業機会を逃したことにより業況が悪化した先がみられたものの、民間の共同住宅建築需要など、当面は安定して受注が見込めるとの声も聞かれ、「好転」超幅が拡大した。
- ・ 卸売業では、食料品や建築材料で仕入高に対し適正価格で販売できず利益確保に窮しているなど、資材やその他経費高騰の影響を受け「好転」超幅が大幅に縮小した。

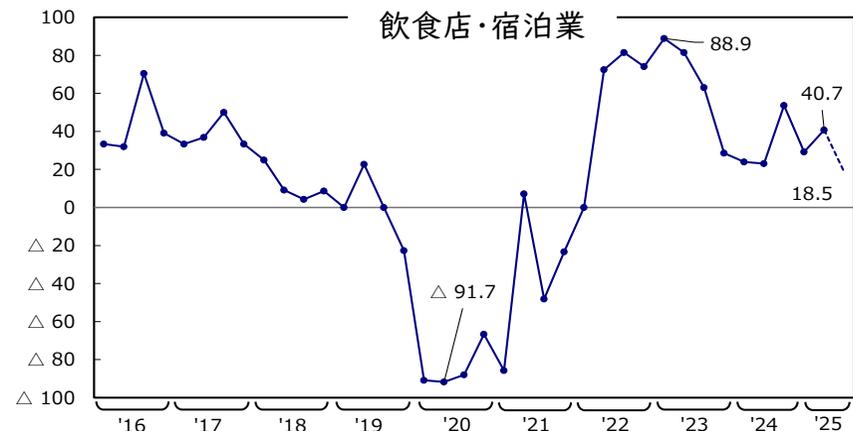
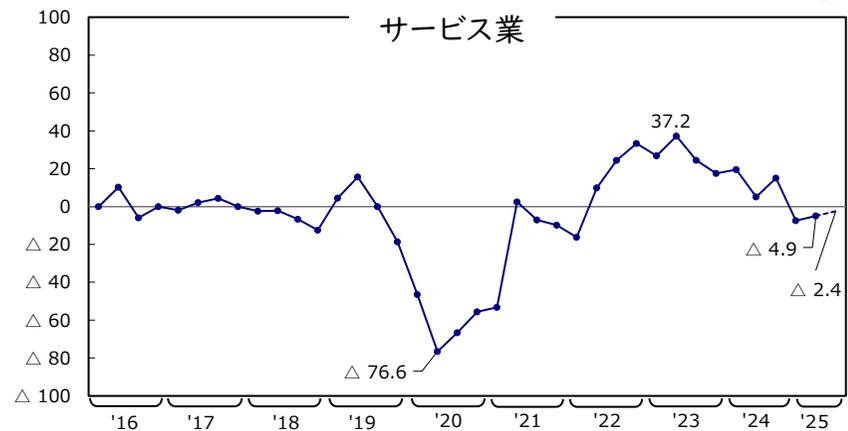
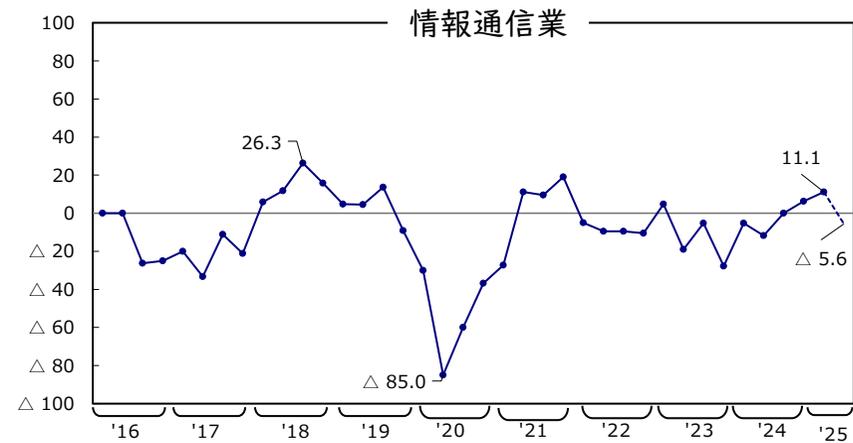
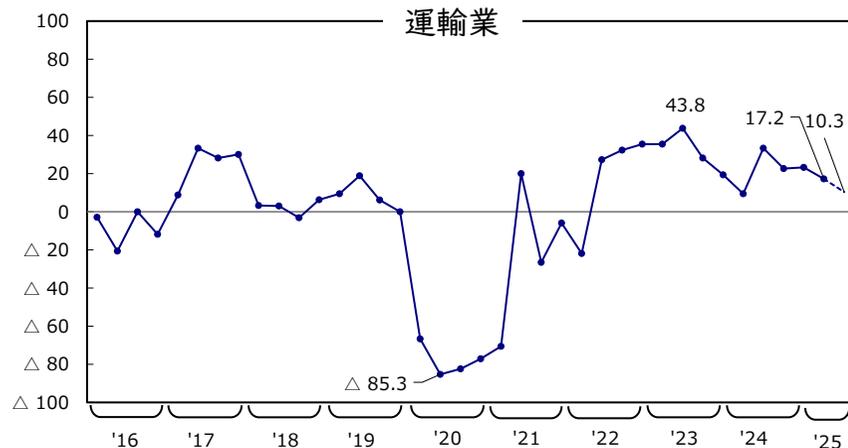
図表4-1 業種別の業況判断D.I.の推移

(単位:%ポイント、点線は見通し)



- 運輸業では、観光客の増加によりタクシーやバスなどの旅客運送で「好転」回答が多く見られたものの、その他運輸・倉庫業で「好転」回答から「不変」回答へシフトしたことにより、「好転」超幅が縮小した。
- サービス業では、レンタカーをはじめとしたリースやホテル向けのリネンサプライで「好転」回答が多くみられ、「悪化」超幅がやや縮小した。
- 飲食店・宿泊業では、プロ野球春季キャンプなどのイベントや地方発着チャーター便の運航による観光客増加に伴い、宿泊業を中心に「好転」超幅が大幅に拡大した。

図表4-2 業種別の業況判断D.I.の推移 (単位:%ポイント、点線は見通し)



2. 景況天気

— 当期は11期連続の「晴れ」、来期も「晴れ」の見通し —

- 当期の県内企業の動向を全産業ベースで見ると、売上D.I. (13.0→7.5)で「増加」超幅が縮小、資金繰りD.I. (1.0→△2.8)で「楽」超から「苦しい」超へ転じたものの、採算水準D.I. (28.7→32.0)で「黒字」超幅がやや拡大となったことから、景況天気(14.2→12.2)は11期連続の「晴れ」となった。
- 来期の見通しは、資金繰りD.I. (0.6)で「苦しい」超から「楽」超へ転じるほか、売上D.I. (15.4)で「増加」超幅が拡大し、採算水準D.I. (30.1)で「黒字」超幅がほぼ横這いとなることから、景況天気(15.4)は引き続き「晴れ」の見通し。

図表5-1 景況天気図 (売上D.I.、採算水準D.I.、資金繰りD.I.の平均値) (単位:%ポイント)

業種	区分	2023年				2024年				2025年							
		10~12月期		1~3月期		4~6月期		7~9月期		10~12月期		1~3月期		4~6月期			
		実績		実績		実績		実績		前回実績		前回見通し		今回実績		今回見通し	
全産業		21.0	18.1	16.6	20.2	14.2	(12.9)	12.2	15.4								
製造業		25.0	26.0	19.5	18.1	12.1	(10.3)	8.3	7.2								
建設業		6.3	9.1	11.1	8.2	3.0	(5.4)	6.7	15.0								
卸売業		38.3	33.3	30.3	35.6	26.8	(28.5)	21.7	17.1								
小売業		33.3	25.9	15.2	32.4	21.9	(19.0)	23.9	26.5								
運輸業		24.7	18.8	24.4	22.6	21.1	(17.8)	20.7	18.4								
情報通信業		△27.8	△21.1	△3.9	△5.0	△4.2	(2.1)	△5.6	△3.7								
サービス業		19.2	17.1	12.8	11.7	10.0	(8.3)	6.5	15.4								
飲食店・宿泊業		32.1	14.7	12.8	39.3	23.6	(8.3)	12.3	23.5								

	快晴	—	30以上~100以下
	晴	—	10以上~30未満
	薄曇り	—	△5以上~10未満
	曇り	—	△30以上~△5未満
	雨	—	△100以上~△30未満

図表5-2 全産業における主要3指標の推移

区分	2024年		2025年		
	10~12月期	1~3月期	1~3月期	4~6月期	
		前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業					
売上D.I.	13.0	(13.3)	7.5	15.4	
採算水準D.I.	28.7	(26.7)	32.0	30.1	
資金繰りD.I.	1.0	(△1.3)	△2.8	0.6	

3. 売上

— 当期は「増加」超幅が縮小、来期は「増加」超幅が拡大の見通し —

- 当期の売上D.I.は、全産業で7.5と「増加」超幅が縮小した。
- 原材料価格や資材高騰などの影響を大きく受けているものの価格転嫁が進まず、製造業では「増加」超から「減少」超へ転じ、卸売業では「増加」超幅が大幅に縮小した。
- 情報通信業では、新規顧客獲得難や価格競争の激化などの理由により「減少」超幅が大幅に拡大した。
- 来期は、全産業で15.4と「増加」超幅が拡大の見通しとなっている。

図表6 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2023年	2024年				2025年		
	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期 前回見通し	今回実績	4~6月期 今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	27.4	21.6	11.9	23.9	13.0	(13.3)	7.5	15.4
① 増加(%)	48.5	43.9	36.9	44.9	37.3	(32.0)	37.3	32.9
不変(%)	30.5	33.9	38.1	34.1	38.3	(49.3)	32.9	49.5
② 減少(%)	21.0	22.3	25.0	21.0	24.3	(18.7)	29.8	17.6
製造業	38.3	27.1	17.2	7.0	7.3	(12.7)	△ 8.3	3.3
建設業	4.7	3.2	0.0	5.3	△ 8.9	(△5.4)	△ 5.0	8.3
卸売業	48.9	35.7	25.0	50.0	31.7	(31.7)	18.6	14.0
小売業	54.1	38.9	11.4	41.2	11.4	(17.1)	28.2	38.5
運輸業	25.8	21.9	30.0	35.5	30.0	(23.3)	10.3	13.8
情報通信業	△ 27.8	△ 36.8	△ 17.6	△ 5.0	△ 6.3	(12.5)	△ 27.8	△ 11.1
サービス業	20.0	29.3	5.1	17.5	15.0	(7.5)	7.3	22.0
飲食店・宿泊業	39.3	40.0	19.2	57.1	33.3	(16.7)	40.7	33.3

4. 採算水準

— 当期は「黒字」超幅がやや拡大、来期は「黒字」超幅がほぼ横這いの見通し —

- 当期の採算水準D.I.は全産業で32.0と「黒字」超幅がやや拡大となり、情報通信業で「保合い」、その他すべての業種で「黒字」超となった。
- 飲食店・宿泊業で、人件費および水道光熱費等の高騰により収益が圧迫され、「黒字」超幅が大幅に縮小した。
- 来期は、全産業で30.1と「黒字」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

図表7 採算水準D.I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年				2024年				2025年			
		10~12月期		1~3月期		4~6月期		7~9月期		10~12月期		1~3月期	4~6月期
		実績		実績		実績		実績		前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I.(①-②)	31.7	31.0	32.4	29.3	28.7	(26.7)	32.0	30.1				
	① 黒字(%)	46.6	47.0	46.2	46.2	44.7	(40.3)	48.3	42.6				
	トト(%)	38.4	37.0	40.1	36.9	39.3	(46.0)	35.4	44.8				
	② 赤字(%)	14.9	16.0	13.8	16.9	16.0	(13.7)	16.3	12.5				
	製造業	36.7	37.3	36.2	38.6	27.3	(16.4)	33.3	23.3				
	建設業	17.2	27.4	26.7	14.0	16.1	(23.2)	26.7	28.3				
	卸売業	66.0	61.9	56.8	56.8	58.5	(58.5)	51.2	44.2				
	小売業	37.8	30.6	34.3	41.2	42.9	(34.3)	46.2	41.0				
	運輸業	35.5	31.3	40.0	25.8	26.7	(30.0)	44.8	34.5				
	情報通信業	△ 38.9	0.0	5.9	△ 25.0	△ 18.8	(△ 6.3)	0.0	△ 5.6				
	サービス業	32.5	31.7	30.8	22.5	25.0	(27.5)	29.3	29.3				
	飲食店・宿泊業	25.0	△ 8.0	3.8	35.7	33.3	(8.3)	3.7	29.6				

5. 資金繰り

— 当期は「楽」超から「苦しい」超へ転じ、

来期は「苦しい」超から「楽」超へ転じる見通し—

- 当期の資金繰りD.I.は、全産業で△2.8と、「楽」超から「苦しい」超へ転じた。
- 建設業や卸売業では原材料価格高騰や設備投資、サービス業では人手不足による売上減少、飲食店・宿泊業では人件費等の経費増や借入金負担により、「苦しい」超となりました。
- 来期は、全産業で0.6と「苦しい」超から「楽」超へ転じる見通しとなっている。

図表8 資金繰りD.I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位:%ポイント)

区分 業種	2023年	2024年				2025年		
	10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期	1~3月期		4~6月期
					前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D.I. (①—②)	4.0	1.6	5.4	7.3	1.0	(△1.3)	△ 2.8	0.6
① 楽 (%)	13.1	11.9	13.1	15.3	11.3	(8.3)	10.0	9.4
不変 (%)	77.7	77.7	79.2	76.8	78.3	(82.0)	77.1	81.8
② 苦しい (%)	9.1	10.3	7.7	8.0	10.3	(9.7)	12.9	8.8
製造業	0.0	13.6	5.2	8.8	1.8	(1.8)	0.0	△ 5.0
建設業	△ 3.1	△ 3.2	6.7	5.3	1.8	(△1.8)	△ 1.7	8.3
卸売業	0.0	2.4	9.1	0.0	△ 9.8	(△4.9)	△ 4.7	△ 7.0
小売業	8.1	8.3	0.0	14.7	11.4	(5.7)	△ 2.6	0.0
運輸業	12.9	3.1	3.3	6.5	6.7	(0.0)	6.9	6.9
情報通信業	△ 16.7	△ 26.3	0.0	15.0	12.5	(0.0)	11.1	5.6
サービス業	5.0	△ 9.8	2.6	△ 5.0	△ 10.0	(△10.0)	△ 17.1	△ 4.9
飲食店・宿泊業	32.1	12.0	15.4	25.0	4.2	(0.0)	△ 7.4	7.4

6. 借入難易

— 当期は「容易」超幅がやや縮小、来期は「容易」超幅が横這いの見通し —

- 当期の民間金融機関からの借入難易D.I.は、全産業で2.8と「容易」超幅がやや縮小となった。
- 来期は、全産業で2.8と「容易」超幅が横這いの見通しとなっている。

図表9 借入難易D.I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年	2024年				2025年		
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期		4~6月期
							前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①-②)	3.0	4.4	3.5	7.0	7.7	(7.0)	2.8	2.8
	① 容易(%)	5.5	6.9	5.8	7.3	8.7	(8.0)	5.0	6.3
	不変(%)	92.1	90.6	92.0	92.4	90.3	(91.0)	92.8	90.3
	② 困難(%)	2.4	2.5	2.2	0.3	1.0	(1.0)	2.2	3.4
	製造業	3.3	6.8	5.2	10.5	10.9	(9.1)	1.7	1.7
	建設業	3.1	4.8	5.0	5.3	12.5	(12.5)	6.7	6.7
	卸売業	2.1	7.1	4.5	4.5	4.9	(4.9)	4.7	0.0
	小売業	0.0	11.1	2.9	8.8	0.0	(0.0)	0.0	0.0
	運輸業	6.5	△ 6.3	0.0	0.0	0.0	(0.0)	0.0	3.4
	情報通信業	5.6	0.0	0.0	5.0	0.0	(0.0)	0.0	△ 5.6
	サービス業	2.5	0.0	2.6	10.0	7.5	(5.0)	7.3	7.3
	飲食店・宿泊業	3.6	8.0	3.8	10.7	20.8	(20.8)	△ 3.7	3.7

Ⅲ. 参考 販売数量、販売価格

参考1. 販売数量 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は△12.0と「増加」超から「減少」超へ転じた。来期は△4.2と「減少」超幅が縮小する見通しとなっている。

図表10 販売数量D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年	2024年				2025年		
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期		4~6月期
							前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①—②)	23.6	10.2	△ 7.3	15.6	2.3	(5.3)	△ 12.0	△ 4.2
	① 増加(%)	44.4	36.5	25.5	38.5	32.8	(30.5)	25.4	21.1
	不変(%)	34.0	37.2	41.6	38.5	36.6	(44.3)	37.3	53.5
	② 減少(%)	20.8	26.3	32.8	23.0	30.5	(25.2)	37.3	25.4

参考2. 販売価格 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期は50.0と「上昇」超幅がやや拡大した。来期も58.5と「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。

図表11 販売価格D.I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年	2024年				2025年		
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期		4~6月期
							前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①—②)	63.2	49.6	52.6	48.9	46.6	(44.3)	50.0	58.5
	① 上昇(%)	67.4	55.5	56.9	54.8	52.7	(50.4)	54.2	59.9
	不変(%)	27.8	38.7	38.7	39.3	41.2	(43.5)	41.5	38.7
	② 下降(%)	4.2	5.8	4.4	5.9	6.1	(6.1)	4.2	1.4

在庫水準、雇用判断

参考3. 在庫水準 ※製造業・卸売業・小売業のみ

- 当期末は△6.3と、前期末と比べて「過剰」超幅がやや拡大した。

図表12 在庫水準D.I. (当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年					2024年	
		12月期末	3月期末	6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	2025年
全産業D.I. (①-②)		△ 6.3	△ 0.7	△ 2.9	△ 6.7	△ 3.8	△ 6.3	
	① 不足(%)	4.9	9.5	7.3	4.4	5.3	3.5	
	適正(%)	83.3	80.3	82.5	84.4	85.5	86.6	
	② 過剰(%)	11.1	10.2	10.2	11.1	9.2	9.9	

参考4. 雇用判断

- 当期の雇用判断D.I.は、全産業で56.4と「不足」超幅がやや拡大となった。
- 来期は、全産業で58.6と「不足」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

図表13 雇用判断D.I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位:%ポイント)

業種	区分	2023年		2024年				2025年		
		10~12月期 実績	1~3月期 実績	4~6月期 実績	7~9月期 実績	10~12月期 前回実績	1~3月期		4~6月期 今回見通し	
							前回見通し	今回実績		
全産業 D.I (①-②)		54.9	58.9	56.4	57.3	54.0	(54.7)	56.4	58.6	
	① 不足(%)	56.4	60.2	57.7	58.9	55.3	(55.3)	57.7	59.6	
	適正(%)	42.1	38.6	41.0	39.5	43.3	(44.0)	41.1	39.5	
	② 過剰(%)	1.5	1.3	1.3	1.6	1.3	(0.7)	1.3	0.9	

経営上の問題点

参考5. 経営上の問題点

- 経営上の問題点としては、「**原材料高**」、「**求人難**」、「**人件費の増加**」の順に高かった。
- 製造業、建設業、卸売業、運輸業、飲食店・宿泊業で「**原材料高**」が最も高い割合となり、幅広い業種で「**求人難**」や「**人件費の増加**」を問題視する声が聞かれた。

図表14 経営上の問題点 (複数回答)

